

頁	課目	内容	日付
運動課目一覧表	M1課目	満点を修正	2012/11/20
	欄外	Aクラスに関する記述を修正	2012/11/20

課目	項目	内容	日付
A1課目	第9項	斜手前変換 → 斜め手前変換	2013/02/04
A2課目	第5項	斜め前変換 → 斜め手前変換	2013/02/04
A4課目	第5項	(Kの手前で歩度をつめる)を追加	2013/02/04
	第7項	歩幅をのばした常歩 → 手綱を伸ばした常歩	2013/02/04
	欄外	ユバシュトライヘンに関する記述を修正	2012/11/20
A5課目	第13項	A F E 収縮駢歩 → A F 収縮駢歩 F E 斜め手前変換	2013/02/04
	欄外	ストレッチ動作に関する記述を修正	2013/02/04
M1課目	最高点	計を修正	2012/11/20
	最高点	合計を修正	2012/11/20
M2課目	第2項	F 収縮速歩 → F A K 収縮速歩	2013/02/04
	第6項	G 収縮速歩 → G 中央線上に入る	2013/02/04
S2課目	第16項	B R 収縮駢歩 を追加	2013/02/04
	第24項	E S 収縮駢歩 を追加	2013/02/04

日本馬術連盟制定馬場馬術運動課目

平成25年4月1日改定

クラス	課目名	満点	参考時間	大小 勒	水勒	拍車	審判 員数	馬場サイズ	旧課目との対応
S	JEF馬場馬術競技S2課目2013	380	5'10''	可	可	必須	3~5	20×60m	新設
	JEF馬場馬術競技S1課目2013	300	5'30''						旧第5課目(改)
M	JEF馬場馬術競技M2課目2013	330	5'00''						新設
	JEF馬場馬術競技M1課目2013	370	5'30''						旧第4課目(改)
L	JEF馬場馬術競技L2課目2013	290	4'45''						新設
	JEF馬場馬術競技L1課目2013	290	5'30''						旧第3課目A(改)
A	JEF馬場馬術競技A5課目2013	250	3'45''	可	可	任意	2~3	20×40m	新設
	JEF馬場馬術競技A4課目2013	230	4'30''	新設					
	JEF馬場馬術競技A3課目2013	230	4'45''	不可	必須				旧第3課目(SV)
	JEF馬場馬術競技A2課目2013	170	4'15''						旧第2課目
	JEF馬場馬術競技A1課目2013	150	3'30''						旧第1課目

* Aクラスは初級課目とし、経験の浅い人馬対応の課目

* L~S課目はFEIセントジョージ課目へのステップとしての課目

12/11/5発表、12/11/20修正

JEF馬場馬術競技A1課目2013

時間3'30''(参考時間)馬場20m×40m

競技会名

日付

審判員名

審判員位置

出番順

競技者名

所属

馬名

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A X 尋常速歩で入場 停止－不動－敬礼 尋常速歩で発進	10					ペース、停止、 移行の質、真直性、 コンタクト	
2.	C E B 左手前蹄跡に入る 左へ回転 右へ回転、蹄跡行進	10					正しい馬体の屈曲と態勢の変化 真直性	
3.	KXM M 歩幅を伸ばした速歩(速歩または軽速歩) 尋常速歩	10					速歩の整正と歩幅の伸展、真直性、 明確でスムーズな移行	
4.	C CX間 左へ直径20mの輪乗り 左尋常駢歩で発進	10					輪乗りの整正、馬体の屈曲 速歩から駢歩への移行	
5.	C EK間 蹄跡行進(左尋常駢歩) 尋常速歩に移行	10					駢歩の真直性 駢歩から速歩への移行	
6.	FXH H 歩幅を伸ばした速歩 尋常速歩	10					歩幅の伸展と速歩の整正 移行	
7.	C CX間 右へ直径20mの輪乗り 右尋常駢歩で発進	10					輪乗りの整正、馬体の屈曲 速歩から駢歩への移行	
8.	C BF間 蹄跡行進(右尋常駢歩) 尋常速歩に移行	10					駢歩の真直性 駢歩から速歩への移行	
9.	AK KXM MC 中間常歩 斜め手前変換、手綱を伸ばした常歩 (軽いコンタクト) 中間常歩	10					速歩から常歩への移行 後肢の活発な動き、常歩の整正 伸び伸びとした歩調 移行	
10.	C E 尋常速歩で発進、蹄跡行進 左へ直径10mの半巻乗り	10					常歩から速歩への移行 半巻乗りの整正	
11.	X G 中央線路上に入る 停止－不動－敬礼	10					ペース、停止、移行の質、 真直性、コンタクト	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計		110						

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

総合観察

1. ペース(自由自在に变じ、かつ整正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軀のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和、軽快性及び無理のなさ、ハマ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座:正確かつ有効な扶助

合計

10			1		総合観察所見																				
10			1																						
10			1																						
10			1																						
150																									
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;"></td> <td style="width:5%;"></td> <td style="width:5%;"></td> <td style="width:5%;"></td> <td style="width:5%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1回目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2回目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3回目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										1回目					2回目					3回目					
1回目																									
2回目																									
3回目																									
計					最終得点率%:																				

得点から減点すべきもの/ペナルティポイント

経路違反 430条6.1を参照
 1回目 = 2点減
 2回目 = 4点減
 3回目 = 失権
 その他の違反は1回ごとに2点減
 430条6.2を参照

審判員署名

JEF 馬場馬術競技 A2課目 2013

時間 4'15''(参考時間) 馬場 20m×40m

競技会名

日付

審判員名

審判員位置

出番順

競技者名

所属

馬名

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A X 尋常速歩で入場 停止－不動－敬礼 尋常速歩で発進	10					ペース、停止、 移行の質、真直性、 コンタクト	
2.	C MXK KA 右手前蹄跡に入る 歩幅を伸ばした速歩 尋常速歩	10					歩幅の伸展と速歩の整正 明確でスムーズな移行	
3.	AC 蛇乗り3湾曲	10					速歩と屈曲の質 図形の正確さ	
4.	CH HK KA 尋常速歩 歩幅を伸ばした速歩 尋常速歩	10					速歩の整正と歩幅の伸展 真直性 明確でスムーズな移行	
5.	AF FXH HC 中間常歩 斜め手前変換、手綱を伸ばした常歩 (軽いコンタクト) 中間常歩	10					速歩から常歩への移行 後肢の活発な動き、常歩の整正 伸び伸びとした歩調 明確でスムーズな移行	
6.	C 右尋常駢歩で発進 続いて右へ直径20mの輪乗り	10					駢歩へのスムーズな移行 輪乗りの整正、馬体の屈曲と平衡	
7.	CM MF FAK 尋常駢歩 歩幅を伸ばした駢歩 尋常駢歩	10					駢歩の整正 歩幅の伸展 明確でスムーズな移行	
8.	KX XM MC 尋常駢歩 尋常速歩 中間常歩	10					スムーズな移行 真直性 運歩の整正	
9.	C 左尋常駢歩で発進 続いて左へ直径20mの輪乗り	10					駢歩へのスムーズな移行 輪乗りの整正、馬体の屈曲と平衡	
10.	CH HK KAF 尋常駢歩 歩幅を伸ばした駢歩 尋常駢歩	10					駢歩の整正 歩幅の伸展 明確でスムーズな移行	
11.	FX XH HC 尋常駢歩 尋常速歩 中間常歩	10					明確でスムーズな移行 真直性 運歩の整正	
12.	C B 尋常速歩で発進 右へ直径10mの半輪乗り	10					常歩から速歩への移行 半輪乗りの整正	
13.	X G 中央線上的に入る 停止－不動－敬礼	10					ペース、停止、移行の質、 真直性、コンタクト	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計		130						

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

総合観察

1. ペース(自由自在に变じ、かつ整正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軀のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和、軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座:正確かつ有効な扶助

合 計

得点から減点すべきもの/ペナルティポイント

- 経路違反 430条6.1を参照
- 1回目 = 2点減
 - 2回目 = 4点減
 - 3回目 = 失 権
- その他の違反は1回ごとに2点減
430条6.2を参照

計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			1		
10			1		
170					
			1回目		
			2回目		
			3回目		
					最終得点率%:

審判員署名

JEF 馬場馬術競技 A3課目 2013

時間4'45''(参考時間) 馬場 20m×40m

競技会名

日付

審判員名

審判員位置

出番順 競技者名 所属 馬名

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A X 尋常速歩で入場 停止－不動－敬礼 尋常速歩で発進	10					ペース、停止、 移行の質、真直性、 コンタクト	
2.	C HXF FA 左手前蹄跡に入る 中間速歩 尋常速歩	10					速歩の整正 歩幅の伸展 明確でスムーズな移行	
3.	A X 中央線上に入る 右へ直径10mの巻乗り	10					馬体の屈曲とバランス 巻乗りの整正	
4.	X 続いて左へ直径10mの巻乗り	10					馬体の屈曲とバランス 巻乗りの整正	
5.	C MXK KA 右手前蹄跡に入る 中間速歩 尋常速歩	10					速歩の整正 歩幅の伸展 明確でスムーズな移行	
6.	AF FXH HC 中間常歩 斜め手前変換、手綱を伸ばした常歩 (軽いコンタクト) 中間常歩	10					速歩から常歩への移行 後肢の活発な動き、常歩の整正 伸び伸びとした歩調 明確でスムーズな移行	
7.	C CMB 右尋常駢歩で発進 尋常駢歩	10					明確でスムーズな移行 駢歩の質	
8.	B BFAK 右へ直径15mの輪乗り 尋常駢歩	10					輪乗りの整正 馬体の屈曲とバランス	
9.	KXM X MCHE 斜め手前変換、尋常駢歩 シンプルチェンジ 尋常駢歩	10					バランス 明確でスムーズな移行 3～5歩の質の良い常歩	
10.	E EKAF 左へ直径15mの輪乗り 尋常駢歩	10					輪乗りの整正 馬体の屈曲、バランス	
11.	FXH X HCMBF 斜め手前変換、尋常駢歩 シンプルチェンジ 尋常駢歩	10					バランス 明確でスムーズな移行 3～5歩の質の良い常歩	
12.	FD BM MC 直径10mの半巻乗り、Bに向って進む 反対駢歩 尋常速歩	10					半巻乗りの整正、馬体の屈曲 反対駢歩の正しい姿勢、バランス 運歩の整正、明確でスムーズな移行	
13.	C CHEK 左尋常駢歩で発進 尋常駢歩	10					駢歩へのスムーズな移行 駢歩の整正、真直性	
14.	KD EH H HC 直径10mの半巻乗り、Eに向って進む 反対駢歩 尋常速歩に移行 尋常速歩	10					半巻乗りの整正、馬体の屈曲 反対駢歩の正しい姿勢、バランス 運歩の整正 明確でスムーズな移行	

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
15.	C CM 右尋常駢歩で発進 尋常駢歩	10					明確でスムーズな移行 駢歩の整正と質	
16.	MBF FA 中間駢歩 尋常駢歩	10					歩幅の伸展とバランス、真直性 駢歩の整正、明確でスムーズな移行	
17.	A X 中央線上に入る 停止－不動－敬礼	10					ペース、移行の質、真直性 コンタクトと項の位置	
計		170						

総合観察

1. ペース(自由自在に变じ、かつ整正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軀のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座:正確かつ有効な扶助

合計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			2		
10			2		
230					
					最終得点率%:
得点から減点すべきもの/ペナルティポイント					
経路違反 430条6.1を参照					
1回目 = 2点減					
2回目 = 4点減					
3回目 = 失権					
その他の違反は1回ごとに2点減					
430条6.2を参照					
計					

審判員署名

JEF 馬場馬術競技 A4課目 2013

時間 4'30''(参考時間) 馬場 20m×40m

競技会名

日付

審判員名

審判員位置

出番順

競技者名

所属

馬名

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A X 尋常速歩で入場 停止－不動－敬礼 尋常速歩で発進	10					ペース、停止、 移行の質、真直性、 コンタクト	
2.	C CHEKA 左手前蹄跡に入る 尋常速歩	10					速歩の整正と質 真直性	
3.	A D 中央線に入る 左へ巻乗り(直径10m)	10					速歩の整正と質 バランス 屈曲、巻乗りの大きさと図形	
4.	DG G 尋常速歩 右へ巻乗り(直径10m)	10					速歩の整正と質 バランス 屈曲、巻乗りの大きさと図形	
5.	C MXK 右手前蹄跡に入る 歩幅を伸ばした速歩 (Kの手前で歩度をつめる)	10					速歩の整正、 真直性、歩幅の伸展 明確でスムーズな移行	
6.	KAF 中間常歩	10					明確でスムーズな移行 常歩の整正と質	
7.	FE EH 手綱を伸ばした常歩 中間常歩	10					後肢の活発な動き、常歩の整正 伸び伸びとした歩調、移行	
8.	H C XF FAK 尋常速歩発進 中央線に入る 左へレッグイールディング 尋常速歩	10					明確でスムーズな移行 速歩の整正と質 バランス、流暢さ、肢の交叉	
9.	KXM MC 歩幅を伸ばした速歩 尋常速歩	10					速歩の整正、背の柔軟性、移行 バランス、歩幅とフレームの伸展	
10.	C XK KAFB 中央線に入る 右へレッグイールディング 尋常速歩	10					速歩の整正と質 バランス、流暢さ、肢の交叉	
11.	B BMCH 左尋常駢歩発進 尋常駢歩	10					明確でスムーズな移行 駢歩の整正と質	
12.	HXF 斜め手前変換 X前後で尋常速歩から中間常歩に移行	10					バランス スムーズな移行	
13.	F FAK 右尋常駢歩発進 尋常駢歩	10					明確でスムーズな移行 駢歩の整正と質	

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
14.	KH HC 中間駢歩(ユバシユトライヘン) 尋常駢歩	10					駢歩の整正、背の柔軟性、セルフキャリッジ バランス、移行、歩幅とフレームの伸展	
15.	C 尋常速歩	10					明確でスムーズな移行 速歩の整正と質	
16.	B 停止 3～4歩後退、直ちに尋常速歩発進	10					停止、後退、 明確でスムーズな移行	
17.	A X 中央線上に入る 停止－不動－敬礼 手綱を伸ばした常歩でAより退場	10					ペース、停止、移行の質 真直性、コンタクトと項の位置	
計		170						

※ユバシユトライヘンとは、騎手が両拳を馬の背峰に沿って約2拳程前へ出して2～3歩進み、馬のセルフキャリッジを確認する動作。

※レッグイールドディングの目的は、馬体の柔軟と脚馴致である

総合観察

1. ペース(自由自在に变じ、かつ整正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軀のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和、軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座:正確かつ有効な扶助

合計

得点から減点すべきもの/ペナルティポイント

経路違反 430条6.1を参照

1回目 = 2点減

2回目 = 4点減

3回目 = 失権

その他の違反は1回ごとに2点減

430条6.2を参照

計

10			1	総合観察所見
10			1	
10			2	
10			2	
合計		230		
			1回目	
			2回目	
			3回目	
最終得点率%:				

審判員署名

JEF 馬場馬術競技 A5課目 2013

時間 3'45''(参考時間) 馬場 20m×40m

競技会名

日付

審判員名

審判員位置

出番順

競技者名

所属

馬名

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A X 収縮速歩で入場 停止—不動—敬礼 収縮速歩で発進	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	C E EKA FB 左手前蹄跡に入る 巻乗り(直径10m) 収縮速歩	10					速歩の質 屈曲、巻乗りの大きさと図形	
3.	B FAK 左へ半巻き(直径10m) 収縮速歩	10					屈曲、半巻きの大きさと図形	
4.	KXM MCH 中間速歩 収縮速歩	10					速歩の整正、柔軟性 歩幅とフレームの伸展	
5.	収縮速歩から中間速歩と 中間速歩から収縮速歩への移行	10					明確でスムーズな移行	
6.	H E 中間常歩 左へ回転	10					速歩から常歩への移行 整正、真直性、常歩の質	
7.	X 停止 3~4歩後退 直ちに中間常歩で発進	10					停止、後退の質 スムーズな移行	
8.	B 右へ回転	10					整正、常歩の質	
9.	F 右収縮駢歩で発進	10					明確でスムーズな移行 駢歩の質	
10.	FAKEH H 収縮駢歩 半巻き(直径10m)	10					駢歩の整正 屈曲、半巻きの大きさと図形 セルフキャリッジ、バランス	
11.	EKA 反対駢歩	10					反対駢歩の質 セルフキャリッジ、バランス	
12.	A シンプルチェンジ	10					バランス 明確でスムーズな移行 3~5歩の質の良い常歩	
13.	AF FE 収縮駢歩 斜め手前変換	10					真直性 セルフキャリッジ、バランス	
14.	EHC 反対駢歩	10					反対駢歩の質 セルフキャリッジ、バランス	
15.	C シンプルチェンジ	10					バランス 明確でスムーズな移行 3~5歩の質の良い常歩	
16.	CM MF F 収縮駢歩 中間駢歩 収縮駢歩	10					駢歩の整正 歩幅とフレームの伸展	
17.	収縮駢歩から中間駢歩と 中間駢歩から収縮駢歩への移行	10					明確でスムーズな移行	

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
18.	A AKEB E-B BFA 尋常速歩 尋常速歩 半輪乗り(直径20m) その際、E-B上で手綱を伸ばし(ストレッチ動作)、 B-F上で手綱を元へ戻す 尋常速歩	10					速歩の整正 整正、バランス リラクゼーション 明確でスムーズな移行	
19.	A G 中央線上に入る 停止ー不動ー敬礼	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
	計	190						

*ストレッチ動作においては、頭頸は前下方へ伸展し、馬の口角の高さは肩先(肩関節)と同じくらいの高さにある。

総合観察

1. ペース(自由自在に変わり、かつ整正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後駆のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和、軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座:正確かつ有効な扶助

合計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			2		
10			2		
250					
得点から減点すべきもの/ペナルティポイント					
経路違反 430条6.1を参照					
1回目 = 2点減					1回目
2回目 = 4点減					2回目
3回目 = 失権					3回目
その他の違反は1回ごとに2点減 430条6.2を参照					
計					最終得点率%:

審判員署名

JEF 馬場馬術競技 L1課目 2013

時間5'30''(参考時間) 馬場 20m×60m

競技会名

日付

審判員名

審判員位置

出番順

競技者名

所属

馬名

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A X 収縮速歩で入場 停止—不動—敬礼 収縮速歩で発進	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	C HK KAF 左手前蹄跡に入る 中間速歩 収縮速歩	10					整正、グラウンドカバー 歩幅とフレームの伸展と移行	
3.	FB 左肩を内へ	10					整正、速歩の質 屈曲と一定した角度 収縮、バランス、流暢さ	
4.	BX XE 左へ直径10mの半輪乗り 右へ直径10mの半輪乗り	10					整正、バランスと正しい屈曲 屈曲と方向の変換の流暢さ	
5.	EH HCM 右肩を内へ 収縮速歩	10					整正、速歩の質 屈曲と一定した角度 収縮、バランス、流暢さ	
6.	MXK KA 斜め手前変換、中間速歩 収縮速歩	10					歩幅とフレームの伸展、グラウンドカバー 整正、移行	
7.	A 停止—4歩後退 直ちに中間常歩で発進	10					バランス、四肢が揃うこと 真直性と移行	
8.	AF FS SHC 中間常歩 斜め手前変換、手綱を伸ばした常歩 (軽いコンタクト) 中間常歩	10			2		後肢の活発な動き、整正 伸び伸びとした歩調と踏み込み 移行	
9.	C CHS 右へターンオンザホンチス 中間常歩	10					歩幅の短縮、整正、 活発さ、正しいコンタクト	
10.	S SH H 左へターンオンザホンチス 中間常歩 右へ回転	10					歩幅の短縮、整正、 活発さ、正しいコンタクト	
11.	SHCHSHG 中間常歩	10					整正、エネルギー	
12.	G M 右収縮駢歩で発進 右へ回転	10					明確でスムーズな移行 バランス	
13.	MR RF FA 収縮駢歩 中間駢歩 収縮駢歩	10					真直性、バランス グラウンドカバー 明確でスムーズな移行	
14.	AC 蛇乗り3湾曲 中央線上でシンプルチェンジ	10					図形の正確さ、整正 正しい屈曲、3~5歩の質の良い常歩	
15.	蛇乗り3湾曲上1回目のシンプルチェンジ	10					明確でスムーズな移行、真直性	
16.	蛇乗り3湾曲上2回目のシンプルチェンジ	10					明確でスムーズな移行、真直性	
17.	CM ME EVPB VP 収縮駢歩 斜め手前変換 反対駢歩 直径20mの半輪乗り	10					整正 真直性、バランス セルフキャリッジ 反対駢歩の正しい姿勢と図形	

※ターンオンザホンチス: 旋回の開始時には数歩の前進は容認される。回転の間、馬は1点を中心にして移動する。

即ち、内方後肢はポイントに近い位置に維持しつつ、その周りを明確な4ビートで踏歩しながら回転する。(半径約1/2m)

出番順 競技者名 所属 馬名

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
18.	BRM M 収縮速歩 左収縮駢歩で発進	10					明確でスムーズな移行 修正	
19.	MCH HB BPVE PV 収縮駢歩 斜め手前変換 反対駢歩 直径20mの半輪乗り	10					修正 真直性、バランス セルフキャリッジ 反対駢歩の正しい姿勢と図形	
20.	ESH H 収縮速歩 右収縮駢歩で発進	10					修正 明確でスムーズな移行	
21.	HCM MXK KA 収縮駢歩 中間駢歩(Kの手前で収縮駢歩) 収縮速歩	10					真直性、バランス グラウンドカバー、フレームの伸展 明確でスムーズな移行	
22.	A X 中央線上に入る 停止ー不動ー敬礼	10					ペース、停止、移行の質 真直性、コンタクトと項の位置	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計		230						

総合観察

- ペース(自由自在に变じ、かつ修正であること)
- インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軀のエンゲイジメント)
- 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
- 騎手の姿勢、騎座: 正確かつ有効な扶助

合計

得点から減点すべきもの/ペナルティポイント

経路違反 430条6.1を参照
 1回目 = 2点減
 2回目 = 4点減
 3回目 = 失権
 その他の違反は1回ごとに2点減
 430条6.2を参照

計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			2		
10			2		
合計		290			
			1回目		
			2回目		
			3回目		
計					最終得点率%:

審判員署名

JEF 馬場馬術競技 L2課目 2013

時間 4'45''(参考時間) 馬場 20m×60m

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A X 収縮速歩で入場 停止—不動—敬礼 収縮速歩で発進	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	C S 左手前蹄跡に入る 左へ巻乗り(直径8m)	10					整正 屈曲、巻乗りの大きさと図形	
3.	SV 左肩を内へ	10					整正、速歩の質 屈曲と一定した角度 収縮、バランス、流暢さ	
4.	VL L—S間 左へ半輪乗り(直径10m) 左へハーフパス	10					整正、速歩の質 一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
5.	SHCM R 収縮速歩 右へ巻乗り(直径8m)	10					整正 屈曲、巻乗りの大きさと図形	
6.	RP 右肩を内へ	10					整正、速歩の質 屈曲と一定した角度 収縮、バランス、流暢さ	
7.	PL L—R間 RMCH 右へ半輪乗り(直径10m) 右へハーフパス 収縮速歩	10					整正、速歩の質 一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
8.	HP PF 斜め手前変換、中間速歩 収縮速歩	10					整正、エラスティシティ、 バランス、グラウンドカバー 歩幅とフレームの伸展	
9.	HとPでの移行	10					明確でスムーズな移行 速歩の質	
10.	FAK 中間常歩	10			2		整正、背のサプルネス 活発さ、歩幅とフレームの伸展	
11.	KB BR 斜め手前変換、伸長常歩 中間常歩	10			2		整正、背のサプルネス 肩の自由さ、ハミへの伸展	
12.	R 左収縮駢歩発進	10					明確でスムーズな移行 駢歩の質	
13.	RMCHS SXP 収縮駢歩 斜め手前変換	10					整正、駢歩の質 真直性	
14.	PVE PV 反対駢歩 直径20mの半輪乗り	10					反対駢歩の正しい姿勢と図形 セルフキャリッジ、バランス 半輪乗りの大きさと図形	
15.	E ESHCM シンプルチェンジ 収縮駢歩	10					バランス 明確でスムーズな移行 3～5歩の質の良い常歩 駢歩の質	
16.	MP P 中間駢歩 収縮駢歩	10					歩幅とフレームの伸展、アップヒル傾向 真直性、グラウンドカバー	
17.	MとPでの移行	10					明確でスムーズな移行	

出番順 競技者名 所属 馬名

順 序	運 動 課 目	最 高 点	採 点	修 正	係 数	合 計	着 眼 点	観 察 所 見
18.	PFAKV VR 収縮駢歩 斜め手前変換	10					整正、駢歩の質 真直性	
19.	RSE RS 反対駢歩 直径20mの半輪乗り	10					反対駢歩の正しい姿勢と図形 セルフキャリッジ、バランス 半輪乗りの大きさと図形	
20.	E EVKA シンプルチェンジ 収縮駢歩	10					バランス 明確でスムーズな移行 3～5歩の質の良い常歩 駢歩の質	
21.	A X 中央線上に入る 停止ー不動ー敬礼	10					ペース、停止、移行の質 真直性、コンタクトと項の位置	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計		230						

総合観察

1. ベース(自由自在に变じ、かつ整正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軀のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座:正確かつ有効な扶助

合 計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			2		
10			2		
290					
<p>得点から減点すべきもの/ペナルティポイント</p> <p>経路違反 430条6.1を参照</p> <p>1回目 = 2点減</p> <p>2回目 = 4点減</p> <p>3回目 = 失 権</p> <p>その他の違反は1回ごとに2点減</p> <p>430条6.2を参照</p>					
計					最終得点率%:

審判員署名

JEF 馬場馬術競技 M1課目 2013

時間 5'30''(参考時間) 馬場 20m×60m

競技会名

日付

審判員名

審判員位置

出番順 競技者名 所属 馬名

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A X 収縮駢歩で入場 停止－不動－敬礼 収縮速歩で発進	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	C S 左手前蹄跡に入る 左へ直径8mの巻乗り	10					修正、速歩の質、収縮、バランス 屈曲、巻き乗りの大きさと図形	
3.	SV VKA 左肩を内へ 収縮速歩	10					修正、速歩の質、屈曲と一定した角度 収縮、バランスと流暢さ	
4.	A DE ESH 中央線上に入る 左へハーフパス 収縮速歩	10			2		修正、速歩の質、一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
5.	HM R 右へ回転、M右へ回転 右へ直径8mの巻乗り	10					修正、速歩の質、収縮、バランス 屈曲、巻き乗りの大きさ図形	
6.	RP PFA 右肩を内へ 収縮速歩	10					修正、速歩の質、屈曲と一定した角度 収縮、バランスと流暢さ	
7.	A DB 中央線上に入る 右へハーフパス	10			2		修正、速歩の質、一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
8.	BRMCH HP PF 収縮速歩 斜め手前変換、中間速歩 収縮速歩	10					修正、エラスティシティー、バランス、 歩幅とフレームの伸展 後躯のエンゲイジメント	
9.		10					リズムの維持、 明確でスムーズな移行 フレームの変化	
10.	FAK 中間常歩	10					修正、背のサプルネス、活発さ、 肩の自由さ、	
11.	KR 伸長常歩	10			2		修正、背のサプルネス、活発さ、 フレームの伸展、肩の自由さ、 ハミへの伸展、オーバートラック	
12.	RM 収縮常歩	10					修正、背のサプルネス、活発さ、 歩幅の短縮と運歩の高揚 セルフキャリッジ、常歩の移行	
13.	M GH間 左へ回転 左へ半ピルーエット	10					修正、活発さ、 正しいコンタクト、4ビートの維持	
14.	GM間 右へ半ピルーエット	10					修正、活発さ、 正しいコンタクト、4ビートの維持	
15.	H 右へ回転 MG(H)(M)GHC収縮常歩	10					歩幅の短縮と運歩の高揚 頭頸の態勢と運歩の修正	
16.	C CM 右収縮駢歩発進 収縮駢歩	10					明確でスムーズな移行 駢歩の質	
17.	MP PF 中間駢歩 収縮駢歩	10					駢歩の質、歩幅とフレームの伸展 バランス、アップヒル傾向、真直性、 明確でスムーズな移行	
18.	F DB 半輪乗り(直径10m) 右へハーフパス	10					駢歩の質、収縮、バランス、流暢さ 一定した屈曲、	
19.	BRMC 反対駢歩	10					駢歩の質と収縮、セルフキャリッジ バランス、真直性、	
20.	C CH シンプルチェンジ 収縮駢歩	10					バランス、明確でスムーズな移行 前後の駢歩の質 3～5歩の質の良い常歩	

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序		運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
21.	HV VK	伸長駢歩 収縮駢歩	10					駢歩の質、インパルジョン、バランス 歩幅とフレームの伸展、真直性、 アップヒル傾向、中間駢歩との違い	
22.		HとVでの移行	10					明確でスムーズな移行	
23.	K DE	半輪乗り(直径10m) 左へハーフパス	10					駢歩の質、収縮、バランス 一定した屈曲、流暢さ	
24.	ESHC	反対駢歩	10					駢歩の質と収縮、セルフキャリッジ バランス、真直性、	
25.	C CM	シンプルチェンジ 収縮駢歩	10					バランス、明確でスムーズな移行 前後の駢歩の質 3~5歩の質の良い常歩	
26.	MIE	斜め手前変換、収縮駢歩 Iでフライングチェンジ	10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、前後の駢歩の質 フライングチェンジの質	
27.	ELF	斜め手前変換、収縮駢歩 Lでフライングチェンジ	10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、前後の駢歩の質 フライングチェンジの質	
28.	A X	中央線上に入る 停止-不動-敬礼	10					ペース、停止、移行の質 真直性、コンタクトと項の位置	
		手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計			310						

総合観察

- ペース(自由自在に变じ、かつ整正であること)
- インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軀のエンゲイジメント)
- 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
- 騎手の姿勢、騎座:正確かつ有効な扶助

合計

得点から減点すべきもの/ペナルティポイント

経路違反 430条6.1を参照
 1回目 = 2点減
 2回目 = 4点減
 3回目 = 失権
 その他の違反は1回ごとに2点減
 430条6.2を参照

計

10			1	総合観察所見
10			1	
10			2	
10			2	
370				
		1回目		
		2回目		
		3回目		
計				最終得点率%:

審判員署名

JEF 馬場馬術競技 M2課目 2013

時間 5'00''(参考時間) 馬場 20m×60m

競技会名

日付

審判員名

審判員位置

--

出番順 競技者名 所属 馬名

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A X 収縮駢歩で入場 停止ー不動ー敬礼 収縮速歩で発進	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	C HXF FAK 左手前蹄跡に入る 中間速歩 収縮速歩	10					整正、エラスティシティー、 バランス、後躯のエンゲイジメント 歩幅とフレームの伸展	
3.	HとFでの移行	10					明確でスムーズな移行 フレームの変化	
4.	KE 右肩を内へ	10					整正、速歩の質、 屈曲と一定した角度 収縮、バランス、流暢さ	
5.	E 右へ巻乗り(直径8m)	10					整正、速歩の質、 収縮、バランス 屈曲、巻乗りの大きさと図形	
6.	EG G C 右へハーフパス 中央線路上に入る 右手前蹄跡に入る	10			2		整正、速歩の質、一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
7.	RS間 SH間 HCM 半輪乗り(直径20m) 手綱を伸ばして頭頸のストレッチ動作 手綱を元の長さに戻す 収縮速歩	10					整正、リラクゼーション リズムとバランスの維持 徐々に頸を前下方へ伸展 抵抗なく手綱を戻す	
8.	MXK KAF 斜め手前変換、伸長速歩 収縮速歩	10					整正、エラスティシティー バランス、後躯のエンゲイジメント フレームの伸展、中間速歩との違い	
9.	MとKでの移行	10					リズムの維持、流暢さ、 明確でスムーズな移行 フレームの変化	
10.	FB 左肩を内へ	10					整正、速歩の質 屈曲と一定した角度 収縮、バランス、流暢さ	
11.	B 左へ巻乗り(直径8m)	10					整正、速歩の質 収縮、バランス 屈曲、巻乗りの大きさと図形	
12.	BG G 左へハーフパス 収縮速歩	10			2		整正、速歩の質、一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
13.	C手前で C CHS 中間常歩 左手前蹄跡に入る 中間常歩	10					常歩への移行 整正、背のサプルネス、活発さ	
14.	SXP 斜め手前変換、伸長常歩	10			2		整正、活発さ、 背のサプルネス、オーバートラック 肩の自由さ、ハミへの伸展	
15.	PFA 収縮常歩	10					整正、背のサプルネス、活発さ、 歩幅の短縮と運歩の高揚 セルフキャリッジ、常歩の移行	
16.	A 停止、5歩後退、 直ちに右収縮駢歩発進	10					停止、後退の質 明確でスムーズな移行	
17.	AK KX X 収縮駢歩 右へハーフパス 中央線路上に入る	10					整正、駢歩の質、一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、	
18.	I C フライングチェンジ 左手前蹄跡に入る	10					正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向、前後の駢歩の質 フライングチェンジの真直性	

順序		運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
19.	HK KAF	中間駢歩 収縮駢歩	10					駢歩の質、歩幅とフレームの伸展 バランス、アップヒル傾向 真直性	
20.	FX X	左へハーフパス 中央線上に入る	10					整正、駢歩の質、一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、	
21.	I C	フライングチェンジ 右手前蹄跡に入る	10					正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向、前後の駢歩の質 フライングチェンジの真直性	
22.	MXK	斜め手前変換、伸長駢歩	10					駢歩の質、インパルジョン 歩幅とフレームの伸展 バランス、アップヒル傾向、真直性 中間駢歩との違い	
23.	K KA	収縮駢歩、フライングチェンジ 収縮駢歩	10					移行、バランス、流暢さ アップヒル傾向、前後の駢歩の質 フライングチェンジの質、	
24.	A X	中央線上に入る 停止ー不動ー敬礼	10					ペース、停止、移行の質 真直性、コンタクトと項の位置	
		手綱を伸ばした常歩でAより退場							
		計	270						

* ストレッチ動作とはとうけいの前下方への伸展動作であり、ここで求める動作は馬の口角が肩先ぐらいまでとする。

総合観察

1. ペース(自由自在にvari、かつ整正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軀のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和、軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座: 正確かつ有効な扶助

合 計

得点から減点すべきもの/ペナルティポイント

経路違反 430条6.1を参照
 1回目 = 2点減
 2回目 = 4点減
 3回目 = 失 権
 その他の違反は1回ごとに2点減
 430条6.2を参照

計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			2		
10			2		
330					
			1回目		
			2回目		
			3回目		
					最終得点率%:

審判員署名

JEF 馬場馬術競技 S1課目 2013

時間 5'30''(参考時間) 馬場 20m×60m

競技会名

日付

審判員名

審判員位置

出番順 競技者名 所属 馬名

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A X 収縮駢歩で入場 停止ー不動ー敬礼 収縮速歩で発進	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	C HE 左手前蹄跡に入る 左肩を内へ	10					整正、速歩の質、屈曲と一定した角度 収縮、バランスと流暢さ	
3.	EX XB 左へ直径10mの半輪乗り 右へ直径10mの半輪乗り	10					整正、速歩の質、凶形 収縮、バランス、流暢さ	
4.	BF FAK 右肩を内へ 収縮速歩	10					整正、速歩の質、屈曲と一定した角度 収縮、バランスと流暢さ	
5.	KXH 往復手前変換ハーフパス	10					速歩の整正と質、一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉 姿勢変換	
6.	HCM MXK KA 収縮速歩 斜め手前変換、伸長速歩 収縮速歩	10					整正、エラスティシティー、バランス、 歩幅とフレームの伸展 後躯のエンゲイジメント	
7.	AF FS SH 中間常歩 斜め手前変換、伸長常歩 中間常歩	10			2		整正、背のサプルネス、活発さ、 オーバートラック、肩の自由さ、 ハミへの伸展	
8.	H GM間 右へ回転 収縮常歩 右へ半ピルーエット	10					整正、活発さ、収縮、大きさ 諸関節の柔軟性、屈曲 前進氣勢、4ビートの維持	
9.	GH間 左へ半ピルーエット	10					整正、活発さ、収縮、大きさ 諸関節の柔軟性、屈曲 前進氣勢、4ビートの維持	
10.	HG(MG(H)G)収縮常歩	10					整正、背のサプルネス、活発さ、 歩幅の短縮と運歩の高揚 セルフキャリッジ、常歩の質	
11.	G GMR 右収縮駢歩発進、M右へ回転 収縮駢歩	10					明確でスムーズな移行 駢歩の質	
12.	RBEBP PFAK 中間駢歩(Bで直径20mの輪乗りを含む) 収縮駢歩	10					駢歩の質、歩幅とフレームの伸展 バランス、アップヒル傾向、真直性、 明確でスムーズな移行	
13.	KX XI I C 右へハーフパス 直行進 フライングチェンジ 左手前蹄跡に入る	10					駢歩の質、収縮、バランス、流暢さ 一定した屈曲、 アップヒル傾向、前後の駢歩の質 フライングチェンジの真直性	
14.	HK KAF 伸長駢歩 収縮駢歩	10					駢歩の質、インパルジョン、バランス 歩幅とフレームの伸展、真直性、 アップヒル傾向、中間駢歩との違い	
15.	FX XI I C 左へハーフパス 直行進 フライングチェンジ 右手前蹄跡に入る	10					駢歩の質、収縮、バランス、流暢さ 一定した屈曲、 アップヒル傾向、前後の駢歩の質 フライングチェンジの真直性	

出番順 競技者名 所属 馬名

順序		運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
16.	MX MX間	収縮駢歩 右へ半ピルーエット	10			2		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性と屈曲 正しい歩数(3~4歩) 駢歩の質	
17.	M MCH	フライングチェンジ 収縮駢歩	10					バランス、流暢さ、フライングチェンジの質 アップヒル傾向、前後の駢歩の質	
18.	HX HX間	収縮駢歩 左へ半ピルーエット	10			2		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性と屈曲 正しい歩数(3~4歩) 駢歩の質	
19.	H HCM	フライングチェンジ 収縮駢歩	10					バランス、流暢さ、フライングチェンジの質 アップヒル傾向、前後の駢歩の質	
20.	MXK KA	斜線上4歩毎のフライングチェンジ3回 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、真直性 フライングチェンジの質、	
21.	A X	中央線上に入る 停止ー不動ー敬礼	10					ペース、停止、移行の質 真直性、コンタクトと項の位置	
		手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計			240						

総合観察

1. ペース(自由自在に变じ、かつ修正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軀のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座:正確かつ有効な扶助

合計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			2		
10			2		
300					
			1回目		
			2回目		
			3回目		
計					最終得点率%:

得点から減点すべきもの/ペナルティポイント

経路違反 430条6.1を参照
 1回目 = 2点減
 2回目 = 4点減
 3回目 = 失権
 その他の違反は1回ごとに2点減
 430条6.2を参照

審判員署名

JEF 馬場馬術競技 S2課目 2013

時間 5'10''(参考時間) 馬場 20m×60m

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序		運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A X	収縮駢歩で入場 停止ー不動ー敬礼 収縮速歩で発進	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	C MXK KA	右手前蹄跡に入る 斜め手前変換、伸長速歩 収縮速歩	10					整正、エラストイシティー バランス、後躯のエンゲイジメント 歩幅とフレームの伸展	
3.		MとKでの移行	10					明確でスムーズな移行 フレームの変化	
4.	A L	中央線上に入る 左へ巻乗り(8m)	10					整正、速歩の質 巻乗りの大きさと図形	
5.	LS SHC	左へハーフパス 収縮速歩	10			2		整正、速歩の質 一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
6.	C M GH間	収縮常歩 右へ回転 右へ半ピルーエット	10					明確でスムーズな移行、 整正、活発さ、収縮、大きさ、 4ビートの維持、屈曲、前進氣勢 フレクション	
7.	GM間	左へ半ピルーエット	10					整正、活発さ、収縮、大きさ、 4ビートの維持、屈曲、前進氣勢 フレクション	
8.		MG(H)(M)GH収縮常歩	10			2		整正、背のサプルネス 歩幅の短縮と高揚、活発さ セルフキャリッジ	
9.	HB	斜め手前変換、伸長常歩	10			2		整正、活発さ 背のサプルネス、オーバートラック 肩の自由さ、ハミへの伸展	
10.	BPF F	収縮常歩 収縮速歩発進	10					整正 明確でスムーズな移行	
11.	A L	中央線上に入る 右へ巻乗り(直径8m)	10					整正、速歩の質 巻乗りの大きさと図形	
12.	LR RMC	右へハーフパス 収縮速歩	10			2		整正、速歩の質 一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉	
13.	C CH	左収縮駢歩発進 収縮駢歩	10					明確でスムーズな移行 駢歩の質	
14.	HXF FA	斜線上4歩毎のフライングチェンジ3回 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、真直性 フライングチェンジの質、	
15.	A DB	中央線上に入る 右へハーフパス	10					駢歩の整正 頭頸の態勢と馬体の一定した屈曲	
16.	BR R RMCH	収縮駢歩 フライングチェンジ 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向 フライングチェンジの質	
17.	HX HX間	収縮駢歩 左へ半ピルーエット	10			2		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性と屈曲 正しい歩数(3~4歩) 駢歩の質	
18.	H HCM	フライングチェンジ 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向 フライングチェンジの質	

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序		運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
19.	MX MX間	収縮駢歩 右へ半ピルエット	10			2		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性と屈曲 正しい歩数(3~4歩) 駢歩の質	
20.	M MCH	フライングチェンジ 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向 フライングチェンジの質	
21.	HK KA	伸長駢歩 収縮駢歩	10					駢歩の質、インパルジョン 歩幅とフレームの伸展、真直性 バランス、アップヒル傾向	
22.		HとKでの移行	10					明確でスムーズな移行 フレームの変化、	
23.	A DE	中央線上に入る 左へハーフパス	10					整正 頭頸の態勢と馬体の一定した屈曲	
24.	ES S SHCM	収縮駢歩 フライングチェンジ 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向 フライングチェンジの質	
25.	MXK KA	斜線上3歩毎のフライングチェンジ3回 収縮駢歩	10					正確さ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、真直性 フライングチェンジの質、	
26.	A X	中央線上に入る 停止-不動-敬礼	10					ペース、停止、移行の質 真直性、コンタクトと項の位置	
		手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計			320						

総合観察

1. ペース(自由自在に変わり、かつ整正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軀のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座:正確かつ有効な扶助

合計

得点から減点すべきもの/ペナルティポイント

経路違反 430条6.1を参照
 1回目 = 2点減
 2回目 = 4点減
 3回目 = 失権
 その他の違反は1回ごとに2点減
 430条6.2を参照

計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			2		
10			2		
380					
			1回目		
			2回目		
			3回目		
計					最終得点率%:

審判員署名